

「散髪屋で『10円はげができるいますよ』と言われました。ストレスがたまつているのでしょうか」。そう言って皮膚科を受診される方がよくいます。洗髪の時や、朝起きた時の抜け毛も気になります。

円形脱毛症は、10円硬貨程度の大きさに髪の毛が抜け、境界もはつきりしています。原因は精神的なストレスと考えられてきました。しかし実際には、ストレスと脱毛の関係はよく分かつていません。

最近は「自己免疫説」が有力視されています。リンパ球が、毛の根元を「自分ではない」と間違って認識して攻撃し、炎症を起こさ

皮膚の病気あれこれ

岩崎泰政

6

半分以上は自然に治癒

円形脱毛症



イラスト・霜野美香

せても毛を排除してしまうと
いう仕組みです。その引き
金が、ストレスや感染症、
大きさもまちまちです。

1、2個の円形脱毛症は、治療しなくとも半分以上は自然に治ります。しかし、どんどん増えたり、毛根が萎縮して、永久に生えなくなることがあります。早めに皮膚科を受診するとよいでしょう。

治療は、免疫反応を抑えるために、患部にステロイドを塗ったり、直接注射したりします。養毛剤も使います。

(岩崎皮ふ科・形成外科
長=福山市)

卵ぐらいの大きさになつたり、どんどん広がつて最後は髪の毛全体が抜けてしまつたりすることもあります。まゆ毛やまつげが抜けることもあります。

ほかにも、ストレスで無意識に自分の毛を抜いてしまう「拔毛症」や、年齢に比べて早く髪の毛が薄くなるいわゆる「男性型脱毛症（AGA）」も脱毛症の一種です。傷や細菌感染などで毛根が傷ついたり、膠原病や甲状腺の病気になったりして起こることもあります。さらに液体窒素による冷却や、特殊な波長の紫外線の照射をすることも。広い範囲の脱毛や治りにくいう場合は、薬品でかぶれさせたり、短期間にたくさん量のステロイドを点滴したりもします。